



マダニによる感染症に

注意!!

マダニによる感染症は春から秋にかけて増加します。
マダニに咬まれないよう注意しましょう!!

マダニとは

- ① 森林や草地などの屋外に生息する比較的大型のダニです。
- ② 春から秋にかけて活動が活発になります。
- ③ シカ・イノシシなど野生動物の出没する環境に多く生息しています。
(飼い犬が咬まれたりして持ち帰る場合もあります)
- ④ 皮膚の柔らかいところ【腋下・足の付け根・手首・膝裏・頭頸部など】に咬みつき、数日間かけて吸血します。
- ⑤ 咬まれることにより「日本紅斑熱」「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」に感染することがあります。

主なマダニ(フタトゲチマダニ)とその大きさ



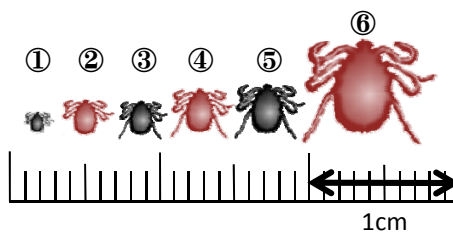
吸血後成ダニ



産卵中成ダニ



若ダニ



- ①未吸血幼ダニ
- ②吸血後の幼ダニ
- ③若ダニ
- ④吸血後の若ダニ
- ⑤雌ダニ成虫
- ⑥吸血後雌ダニ成虫

写真: 国立感染症研究所

マダニに咬まれてうつる感染症

病名	こうはんねつ 日本紅斑熱	重症熱性 血小板減少症候群
病原体	日本紅斑熱 リケッチア	SFTSウイルス
症状	高熱、発疹など	発熱、消化器症状(下痢・吐き気等)
重症化して、死亡するケースもあり		

予防(マダニに咬まれない)のポイント

感染予防にはマダニに咬まれないようにすることが重要です。

出典: 国立感染症研究所
昆虫医科学部

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

シャツの袖口は、軍手や手袋の中に入れてみましょう。

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。

半ズボンやサンダル履きは不適当です!

ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。

シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。

農作業や草刈などでは、ズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

屋外活動後は、シャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックしましょう。

ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。

農林業やレジャー等で屋外で活動する際は

- ① 長袖・長ズボン・手袋・靴下等を着用し、裾や袖口は靴下・手袋の中に入れるなど、皮膚の露出を少なくする事が重要です。
- ② 忌避剤(防虫スプレー)の使用も効果的です。
- ③ 帰宅後は、ダニを家の中に持ち込まないようにするとともに、入浴してダニが付いてないか(咬まれてないか)確認しましょう。
※咬まれても痛みや痒みはあまりなく、気づかない事も多いです。

もしマダニに咬まれたら

- ① 無理に引き抜こうとすると、マダニの体液を逆流させてしまったり、マダニの一部が皮膚内に残ってしまい化膿することがありますので、医療機関で適切な処置(マダニの除去や消毒)を受けて下さい。
- ② 野山に出かけた後(数日から2週間程度)に、発熱等の症状が出た場合は速やかに医療機関を受診してください。
- ③ 受診時に野山に入った事(ダニに咬まれた事)を申し出てください。

マダニに関する相談

マダニによる感染症やその予防対策等は最寄りの福祉保健所(保健所)にご相談ください。

機関名	電話番号	機関名	電話番号
安芸福祉保健所	0887-34-3173	須崎福祉保健所	0889-42-1999
中央東福祉保健所	0887-52-0004	幡多福祉保健所	0880-35-5982
中央西福祉保健所	0889-22-1286	高知市保健所	088-822-0577